

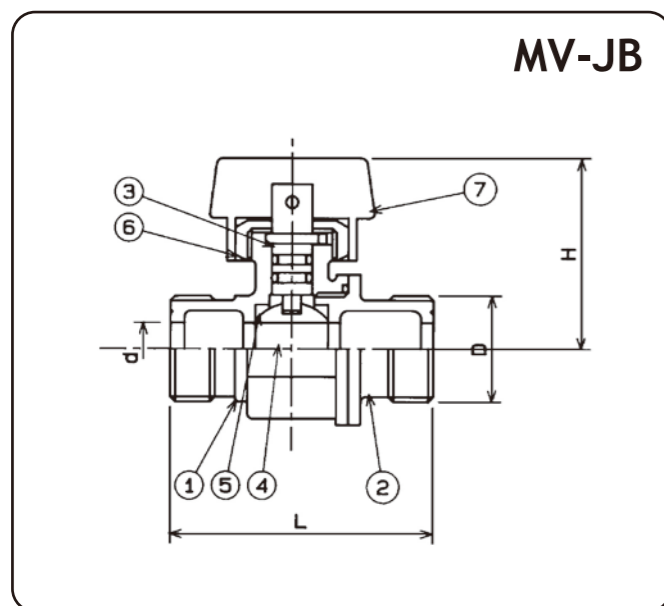
MV-AB

記号 呼び径	D1	D2	d	H	L	
	ねじの呼び	ねじの呼び			最大	最小
13	G ³ / ₄	G ³ / ₄	13	65	98	91
20	G1	G1	20	70	127	111
25	G1 ¹ / ₄	G1 ¹ / ₄	25	79	140	123
30	G1 ¹ / ₂	G1 ¹ / ₂	30	80	167	151
40	G2	G2	40	90	185	165
50	G2 ¹ / ₂	G2 ¹ / ₂	50	100	228	203

MV-JB

記号 呼び径	D	d	H	L
	ねじの呼び			
13	G ³ / ₄	13	57	65
20	G1	20	68	80
25	G1 ¹ / ₄	25	71	90
30	G1 ¹ / ₂	30	100	110
40	G2	40	110	120
50	G2 ¹ / ₂	50	120	140

NO	部品名称	材質
1	胴	CAC900系
2	ボール押え	CAC900系
3	スピンドル	C3604
4	ボール	CAC900系
5	ボールシート	PTFE
6	スピンドル押え	C3604, CAC406 又は CAC900系
7	ハンドル	POM他
8	ビス	C3604
9	ユニオン	CAC900系
10	袋ナット	CAC900系 又は CAC406
11	袋ナット	CAC900系 又は CAC406



ボール止水栓シリーズ
ボール伸縮止水栓シリーズ
ボール固定止水栓シリーズ

MAEDA VALVE



暮らしと、水をむすぶ…。

前田バルブ工業株式会社

本社 〒455-0027 名古屋市港区船見町29番1

本社営業所 名古屋市港区船見町29番1
〒455-0027 TEL 052-618-3800
FAX 052-618-3801

札幌営業所 札幌市東区北三十六条東15丁目1番1号
〒007-0836 TEL 011-742-2275
FAX 011-742-3232

九州営業所 福岡市博多区西月隈3丁目3番66号
〒812-0857 TEL 092-474-8818
FAX 092-474-8824

港工場 名古屋市港区船見町29番1
〒455-0027 TEL 052-618-3811
FAX 052-618-3812

URL <http://www.mvk.co.jp>

※記載の品番・仕様などは改良のため、予告なく変更する場合がございます。



ボール止水栓シリーズ

ボール伸縮止水栓
13.20.25.30.40.50mm

MV-AB
(GE)

平行おねじ×伸縮型



ボール伸縮止水栓 鋼管用内ねじ
13.20.25mm

MV-AFB
(RcE)

テーパめねじ×伸縮型



ボール固定止水栓
13.20.25mm

MV-KB
(GK)

平行おねじ×固定型



ボール固定止水栓 鋼管用内ねじ
13.20.25mm

MV-KFB
(RcK)

テーパめねじ×固定型



ボール止水栓 乙形ハンドル ロングスピンドル
13.20.25.30.40.50mm

MV-JB
(G)

平行おねじ型



ボール止水栓 鋼管用内ねじ
13.20.25mm

MV-FB
(Rc)

テーパめねじ型



ボール止水栓の特長

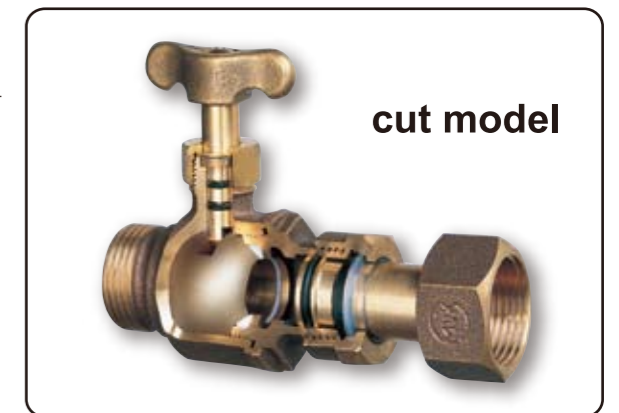
- ボール止水栓は通水口が呼び径通りの真円になっており尚且つ直流である為、流水抵抗が極めて少なく、十分な通水量が得られます。
 - 開閉操作はハンドルを90°回転させて行う為、高さは常に一定です。
 - 止水シールには摩擦係数の小さい四フッ化エチレン樹脂を使用している為、従来の乙型止水栓に比べ低トルクでの開閉が出来ます。
 - ハンドル形状は丸型、一字型など各種取り揃えており、材質も金属製及び樹脂製のものがある為、用途に応じたタイプを選ぶことが出来ます。
- ボール止水栓は以上の様な優れた特長を備えている為、近年は多くの事業体で採用されており、1993年にJWWA B 108の中で規格化されました。尚、同時にボール止水栓の規格化に伴い、従来の乙型止水栓の規格が廃止になっております。

ボール止水栓の種類

ボール止水栓は接続の用途によって以下の種類があります。

- 平行おねじ×伸縮型 (GE)
- テーパめねじ×伸縮型 (RcE)
- 平行おねじ×固定型 (GK)
- テーパめねじ×固定型 (RcK)
- 平行おねじ型 (G)
- テーパめねじ型 (Rc)

開閉防止型も各種取り揃えております。



標準仕様

- ボール止水栓は以下の条件でご使用ください。
- 1. 使用流体／水道水
- 2. 使用温度／常温 (20℃±15℃)
- 3. 使用圧力／0.75MPa以下

使用上の注意



- (1) ボール止水栓の最高使用圧力は 0.75MPa である為、竣工検査などにおいて、0.75MPa を越える水圧で検査を実施する場合は、管末にプラグなどを用いて閉栓し、止水栓は開の状態にして行ってください。
- (2) 配水管の動水圧が 0.75MPa を超える場合は、止水性能に悪影響を及ぼす恐れがありますので、減圧等の処置をして 0.75MPa 以下にして使用してください。
- (3) ボール止水栓を流量調整弁用として中間開度で使用すると、ボールシートなどが損傷して止水性能に悪影響を及ぼすので、流量調整用としては使用しないでください。
- (4) ボール止水栓の開閉方向は標準では左回り開き、右回り閉じとなっております。開閉方向を間違えるとスピンドルの破損等の恐れがある為注意してください。尚、右回り開き、左回り閉じが必要な場合はご注文の際に指示してください。